

保護者のみなさまへ

令和4年10月27日  
(2022年)

吹田市立佐井寺小学校  
校長 勝田 宣孝

## 令和4年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「令和4年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語・算数・理科に限られております。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった6年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にしていただきますようお願いいたします。

### 1 教科に関する調査の分析

#### ●国語《概要》

◎国語は全国値を上回る良好な成績であった。

#### ●国語《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

##### 《話すこと・聞くこと》

・全国値を上回っている。

・「必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと」の中心を捉える」

については、全国値を上回っている。

##### 《書くこと》

・全国値を上回っている。

・「文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える」については全国値を上回っている。

・「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見つける」は全国値を下回り課題がある。

##### 《読むこと》

・全国値を上回っている。

・「登場人物の相互関係について、描写を基に捉える」は全国値を上回っている。

##### 《伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項》

・「漢字問題」はおおむね全国値を上回っている。

・「漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く」は全国値を上回っている。

#### ●国語科における成果と今後の改善点について

◇平均正答率が全国値を上回っている。

◇話すこと、聞くことの領域については、全国値を上回っている。授業の中で話す、聞く活動を意識して取り組んできた結果だと考えられる。引き続き、授業で話し合う経験をたくさん積み自分の考えを話す習慣をつけていく。

◇記述問題は、全国値を上回っているが、差は大きくない。今後は以下のことに取り組む。

- 1 必要な情報を読んで文でまとめる、中心となる語や文を見つけて要約する、などの活動を増やし文章全体の構成を捉え、深い読みにつなげていく。
- 2 国語の時間だけでなく、様々な教科において、文字数を限定して、文字数内に自分の意見や考えが伝わるように書く練習を重ねていく。
- 3 ICTをうまく活用し、書くことに抵抗のある児童についても、活動しやすいよう工夫する。

#### ●算数《概要》

◎算数は全国値を上回る良好な成績であった。無回答率が低く、ほぼ全問に解答していた。

#### ●算数《各領域における成果と課題》

##### 《数と計算》

・示された場面を解釈し、除法で求めることができている。

・示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できている。

・二つの数の最小公倍数を求めることができている。

##### 《変化と関係》

・伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述することに課題がある。

・示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解することには課題がある。

・百分率で表された割合を分数で表すことができている。

##### 《図形》

・正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述することができている。

・示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し平行四辺形であることを判断できる。

##### 《データの活用》

・分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察することができている。

・目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができている。

#### ●算数科における成果と今後の改善点について

◇課題の多い記述問題は、全国値を上回る事ができた。

自分の考えを表現するなど、思考力を高めることを意識して授業改善に取り組んだ成果と考えられる。しかし、正答となるために必要な条件のうち、1つが欠けてしまい誤答となるケースが昨年度同様多く見られた。この結果から、引き続き、文章を理解すること、書くことを大事にし、問いに対して自分の考えを持ち、しっかり考えを表現する力をつけていく必要がある。

## ●理科《概要》

◎理科は全国値を上回る良好な成績であった。無回答率が低く、ほぼ全問に解答していた。

## ●理科《各領域における成果と課題》

### 《生命》

◇全国値を上回っている。

- ・問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えを持つことができている。
- ・自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えを持ち、その内容を記述することができる。

### 《粒子》

- ・自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えを持つことができている。
- ・自然の事物・現象から得た情報を、他者の気づきの視点で分析して、解釈し、自分の考えを持ち、その内容を記述することができる。

### 《エネルギー》

- ・自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えを持つことができている。

### 《地球》

- ・予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えを持つことができている。

## ●理科における成果と今後の改善点について

◇3・4年の学習内容が中心の中での、この結果から学力の定着が図れていると判断できる。

◇記述問題については、3問とも全国平均を上回っている。しかし、解答の主語が抜けている場合や問いの意図の意図に沿った解答になっていない場合など、理科の知識はあるものの、書く力不足で誤答となるケースが多く見られた。引き続き、問題文を正しく読んで理解すること、主語、述語を意識して文章を書く力をつけていく必要がある。

## 2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に対する調査です。「当てはまる」「どちらかと言えばあてはまる」と回答した合計を肯定的回答として分析しています。

### 【自分自身に関するについて】

- ・「自分には良いところがある」は全国値を上回っている。
- ・「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うか」は全国値を上回っている。
- ・「人が困っているときは、進んで助けていますか」は全国値を上回っている。

### 【学習環境・生活環境について】

- ・前回よりも生活リズムが整ってきている。朝食を食べている児童が100%に達した。
- ・「計画を立てて勉強している」が、全国値を下回っている。
- ・コンピュータなどのICT機器の使用頻度は全国値を上回っている。

### 【教科・学習について】

- ・「家庭で自分で計画を立てて勉強している」児童は全国値を下回っている。
- ・「算数の勉強は好きですか」については、全国値をやや上回っている。
- ・「国語の勉強は好きですか」については、全国値を下回っている。
- ・「理科の勉強は好きですか」については、全国値を上回っている。

## 3 今後の取り組み

### 《学校では》

☆昨年度より「主体的に学びに向かい、思考力を高める」ことをテーマに、国語の授業研究に取り組んでいます。まだ結果には結びついていませんが、粘り強く取り組み、国語の勉強が好きになる児童を増やしていきます。国語にとどまることなく他教科においても、日々の授業で思考力を発揮する授業づくりを進めていきます。これからも全教職員が自己研鑽に一層励み研究授業・研究協議を通じて学校全体の授業力向上を図っていきます。

☆これまで学校生活や学校行事などあらゆる教育活動を通じて、児童の自主性を伸ばすこと、児童を称賛することに取り組んできました。今年の調査で「自分に良いところがある」と考える児童が大幅に増えました。コロナウイルスで失われた時間や機会を取り戻すべく、児童一人ひとりが達成感や充実感を味わい、自分自身に自信を持って自己肯定感を高めていけるよう取り組んできた成果といえます。

☆学習面における自主性を引き出す一つとして、自主勉強ノート「学ちゃん」に取り組んでいます。

昨年度より配布した1人1台端末を活用して、児童が自ら学ぼうとする姿勢を育てていけるよう取り組んでいます。本校ではGIGA端末の仕様が浸透し、学校生活でも有効に活用されるようになってきました。

### 《家庭では》

☆学校生活を支える大きな力の一つに「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される生活習慣があります。朝ごはんを食べている児童が100%になったことは、ご家庭のしっかりとした支えの賜物です。

引き続き、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

☆家庭学習については、「家庭学習の手引き」を活用していただき、家庭の方での習慣づけをお願いします。

☆本校は地域行事も盛んな学校です。コロナ禍が落ち着きましたら、子どもが地域行事に参加するよう働きかけをお願いします。

☆これまで様々な場面でかけていただいている家庭での称賛や励ましの声かけが、子どもの活動の源となっています。自己肯定感を更に高めていく上でも、より一層のご協力をお願いします。